

報道関係各社 様

令和5年4月12日



北越急行株式会社

ほくほく線「芸術祭列車」の運行について

ほくほく線では、「2023年の越後妻有」(令和5年4月29日～11月5日)において、芸術祭列車を運行し、ほくほく線美佐島駅を舞台とした芸術作品「JIKU #013 HOKUHOKU-LINE」を展開します。

■運行日：令和5年5月～10月の20日間

5月	3、4、5、6、7	4/14 10時～予約開始
6月	—	—
7月	29、30	6/1 10時～予約開始
8月	11、12、13、19、20	6/1 10時～予約開始
9月	16、17、18、23、24	8/1 10時～予約開始
10月	7、8、9	8/1 10時～予約開始

■運行時刻：

- 1便 六日町(10:15発)→美佐島/作品鑑賞→十日町(10:42着)→まつだい(10:54着)
 - 2便 まつだい(11:07発)→十日町(11:19発)→美佐島/作品鑑賞→六日町(11:46着)
 - 3便 六日町(12:57発)→美佐島/作品鑑賞→十日町(13:24着)→まつだい(13:36着)
 - 4便 まつだい(14:12発)→十日町(14:22発)→美佐島/作品鑑賞→六日町(14:48着)
- ※1便あたり35名定員となります。

■作品名：JIKU #013 HOKUHOKU-LINE

■作家：パノラマティクス/齋藤精一

■鑑賞料金：大人 600円(共通チケット提示で500円) 小中学生 400円(共通チケット提示で300円)

■プレス向け公開：令和5年4月17日(月)にプレス向けの列車を運行いたします。

- 往路 六日町(12:57発)→美佐島/作品鑑賞→十日町(13:24着)
- 復路 十日町(14:22発)→美佐島/作品鑑賞→六日町(14:48着)

※取材をご希望される場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。

<お問い合わせ先>

北越急行(株)営業企画課 担当：村山、水澤
TEL025-750-1251(平日 9:30～17:30)

作品イメージ



パノラマティクス/齋藤精一「JIKU #013 HOKUHOKU-LINE」 photo Nakamura Osamu

作品名: JIKU #013 HOKUHOKU-LINE

都市開発や地形の変化などで見えなくなった地域の軸や視点の軸・歴史の軸を光で表現するプロジェクトシリーズです。今回は、北越急行ほくほく線の美佐島駅が舞台。1997年に開通して以来、新たな地域とのつながりを生み出してきたほくほく線。その軌道を使って、地点と地点を結ぶことの尊さやエネルギーを表現した作品です。特別列車の前後に設置された照明装置によって、まっすぐに伸びるトンネルが音と同期して照らされます。特別列車に乗車して訪れた人だけが鑑賞できる体験型作品となります。

作家: パノラマティクス/齋藤精一

技術と表現の新しい可能性を探求し、独自の作品だけでなく、アーティストや研究者との共同制作も数多く行っている「ライゾマティクス」から、2020年に新たな社会や産業構造の創造と実装に向けて、立ち上がった「パノラマティクス」。2025大阪・関西万博 People's Living Lab(ピープルズ・リビング・ラボ)クリエイターでもある。